

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1019 保育所管理運営事業	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	04	児童福祉費
基本施策	08 子どもを産み育てやすい環境をつくる	目	04	保育所費
		細目	229	保育所管理運営事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	保育所管理運営事業
担当部課	コード	653000		担当者氏名
	名称	阿山支所 住民福祉課		
		連絡先	高森 宣子 43 - 332 (内線)	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	生後57日以上で保護者の労働、疾病により家庭で保育できない乳幼児 ※対象件数
成果(どうする)	入所児童が安全で心身の健全な発達ができる保育環境づくりで、保護者の子育てと就労の両立を支援する。
根拠法令・要綱等	児童福祉法、伊賀市保育所条例
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業内容	阿山支所管内4保育所で保育を実施 定員 325名(入所者187名) 開設時間午前7時～午後6時
社会情勢の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)	運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)
1 建設用地	1 運営主体
2 建設面積(延床面積)	委託先
3 規模・構造	2 配置人員 人
4 総事業費 千円	3 年間運営費 千円
	4 市内の類似施設

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
入所児童数	人	人	目標	190	目標	190
			実績	196	実績	199
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
児童入所率	%	入所児童数/定員(325人)	%	目標	58	目標	58
				実績	60	実績	61
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	Aの財源内訳	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		
直接事業費計(A)		70,318	70,671			54,426	54,426		
Aの財源内訳	国庫支出金	160	161						
	県支出金	445	446						
	地方債								
	その他	1,734	1,735						
一般財源		67,979	68,329			54,426	54,426		
事業投入人件費(B)		0.7人 5,040	0.7人 5,040	0.7人 5,040	0.7人 5,040				
フルコスト(A)+(B)		75,358	75,711			59,466	59,466		

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 個人(セーフティネット)だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
	財政状況を考慮し、事業を廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 保育環境づくりを悪化させ、少子化をまねく。	○
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 60%以上80%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	保育所のあり方を検討するため、関係各課で構成する庁内検討委員会において保育ニーズ、施設の状況について検討を行っている。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 伊賀市の保育士配置基準に基づいた保育士の配置を行った。保護者の就労形態や疾病等により家庭で保育できない在宅児童の一時保育を実施し、利用件数が増加してきている。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 入所児童の安全・安心の保育環境づくりが重要で、施設点検、保育士の資質向上等に努め、円滑な事業を継続する。
現時点における課題、その他	児童の安全、安心を確保するため、日々施設点検等実施して、環境整備に心がける。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	